

徳島文理大学（３） 理解しにくい子を理解するために

- 1 目的
心情が分かりにくい少年、表現力の乏しい少年、行動化の激しい少年等にどう対応していくべきかを学ぶ。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第４期）との関連について

重点項目Ⅴ－推進項目１５－⑩教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

○素養「C 社会性・コミュニケーション力」「F 危機管理能力」

○特別な配慮・支援「A 個に応じた指導・支援力」「B チームによる実践」

2 主催

徳島文理大学、徳島県教育委員会

3 期 日

令和７年８月１日（金）

4 会 場

徳島文理大学 徳島キャンパス ９号館 ８階 ゼミ室１

5 対象者

(1) 職種 教職員

(2) 校種 幼保・小・中・高・中等・特

(3) 定員 ２０名

6 内 容

(1) 少年理解に関する講義

(2) 少年理解に関する実習（ロールプレイングを含む）

(3) 少年理解についての討議

7 講 師

徳島文理大学 人間生活学部 心理学科 教授 青木 宏
教授 福本 浩行

8 日 程

9：30～9：50 受付（９号館 ８階 ゼミ室１）

9：50～10：00 開会、イントロダクション

10：00～12：00 講義「少年を理解するために」

内容 少年理解についての講義を聴講する。

講師 教授 福本 浩行

12：00～13：00 昼食

13：00～14：50 実習「コミュニケーションの在り方」

内容 コミュニケーションの在り方について実習する。

講師 教授 青木 宏

15：00～15：50 討議「少年を理解する上で困っていること」

内容 少年を理解する上で困っていることについて討議する。

講師 教授 青木 宏、教授 福本 浩行

15：50～16：00 リフレクション、閉会

9 準備物

筆記用具等（署名ができるボールペン等を準備してください。）

10 その他

(1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和７年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」３３ページを参照）からダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】徳島県立総合教育センター教職員研修課

kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】徳島県教育委員会体育健康安全課

taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信

時に使用）

taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp（上記以外に使用）

【幼稚園教諭、保育教諭】徳島県教育委員会義務教育課

gimukyoku1@g.tokushima-ec.ed.jp

※公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園は、所管の市町教育委員会又は児童福祉担当部局へメールに添付して提出してください。

(2) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(1)の手順に従ってください。

(3) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。５月～１０月に実施する研修につい

てはエコスタイル（夏はノー上着・ノーネクタイ等）で結構です。

（4）研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（徳島文理大学の場合は「徳島市」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

（5）昼食は、近辺でとるか、各自で御用意ください。

（6）徳島文理大学の駐車場は利用できません。近辺の民間の駐車場等を御利用ください。

（7）本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 宮城 久子 088-672-6419